

プレス・リリース

2017 年 11 月 8 日

ソーシャル・インベストメント・パートナーズ
日本初のベンチャー・フィランソロピー基金を通じて
日本の伝統を次世代につなぐ「株式会社和える」に出資を決定

一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ（所在地：東京都品川区、共同代表理事：白石智哉、野宮博、以下「SIP」）は、公益財団法人日本財団（所在地：東京都港区、会長：笹川 陽平）と共同で運営する「日本ベンチャー・フィランソロピー基金」（以下「JVPF」）を通じて、株式会社「和える」（あえる）に対して総額 3000 万円を出資し、更なる事業成長に向けて協業することを決定いたしました。JVPF にとっては 5 件目の案件となります。

株式会社「和える」（所在地：東京都港区、代表取締役：矢島里佳、以下「和える」）は、2011 年の創業以来、日本の伝統を次世代につなぐことを理念に、日本全国の職人とともに日本の伝統技術を生かした商品やサービスを提供しています。先人の智慧を現代の暮らしの中で活かそうと「和える」が最初に手掛けたのは赤ちゃん・子ども向け商品でした。伝統技術を活かすことで、0 から 6 歳の幼少期から使い始め、日本の伝統に親しむことができる一生モノの商品を企画開発し、販路を広げながら事業は成長しています。

日本が後世に継承すべき伝統産業は衰退しつつあります。その担い手である職人は高齢化し、職人の数は減少の一途を辿っています。また、後継者が育つ仕組みも確立されていないことから、伝統に対する若者の関心も高まることなく、時間だけが過ぎているのが現状です。しかしながら、職人が生み出す伝統産品や伝統工芸品は、日本が世界に誇る重要な資産であり、現代に生きる私たちが守っていかなければならないものでもあります。

「和える」はそうした課題意識をもとに、中核の 0 から 6 歳の伝統ブランド aeru 事業では、伝統と赤ちゃん・子ども市場をつなぐことに成功しました。その後、職人の技をホテルの部屋に取り入れ、地域の魅力を体感できる部屋をプロデュースする aeru room 事業、職人の技で、企業のオリジナル商品や、個人のお客さまの『世界に一つだけ』を誂（あつら）える aeru oasurao 事業、企業・ブランドを次世代につなげる aeru re-branding 事業の展開など、新たな仕組みを生み出してきました。日本全国に存在する伝統職人の智慧や技術を活かし、より豊かな暮らしを実現するためには、この先も、より多くの新しいつなぐ仕組みが必要です。

SIP は投資、支援先の選定にあたり、社会的インパクトの大きさ、事業の持続可能性、事業拡大の可能性、経営者のリーダーシップ、ミッション・ビジョンの共有を選定基準に挙げています。

「和える」の事業は、これらの基準を満たすだけでなく、日本の伝統を次世代につなぐ様々な仕組み作りにも創造的に取り組むとともに、その社会的インパクトの可視化へのコミットも強く、大きな社会的意義を有しています。また「和える」創業者兼代表取締役の矢島氏がベンチャー・フィランソロピーの意義を的確に理解、評価していることも協業実施の上で重要な要素となりました。

SIP 共同代表理事 野宮博 コメント

「和える」は、日本の伝統を次世代につなぐという熱い想いをベースに 0-6 歳児向けの日用品ブランドの創設という着眼点をもって事業を開始し、伝統産業の職人さんたちの力強い共感と協力を得て、商品を創出、ギフト市場を中心に成長してきました。これに加えて、保育園への働きかけ、法人との提携などの新規販路開拓にも着手しています。こうしたアプローチを通じてより多くの子どもたちとその周囲の大人にも「和える」理念の商品を届け体験してもらうことが期待され、スケールの見込める事業モデルに成長しつつあります。今回の協業で SIP は「和える」の経営陣に伴走し、これまでの取り組みをさらに発展させ、より大きな社会的インパクトを創出できるような事業基盤の確立を目指します。「和える」が新たな成長フェーズを迎えるにあたり、プロボノ・パートナーの専門力も活用しながら、必要となる人財や資本の充実を進めます。また、最終的には社会的インパクトが可視化できるよう、インパクトレポート作成にも取り組んでまいります。日本の伝統産業が置かれた様々な問題点を顕在化させる第一歩にもなりえます。」

株式会社「和える」創業者兼代表取締役 矢島里佳氏コメント

「創業 6 年の「和える」は、これまでの事業の取り組みをさらに発展させ、より多くの伝統を次世代につなぐべく、「JVPF」と提携し、文化と経済両輪での成長をより適切なスピードで行う環境を生み出すことにいたしました。現在、「和える」の 4 つ事業に加えて、この先、さらなる新規事業が誕生していく最中、この度 JVPF にお声掛け頂いたタイミングと、私たち「和える」の事業フェーズがぴったりと合い、このタイミングでの事業提携となりました。」

「JVPF は、財務的リターンではなく社会的インパクトをリターンとして目指しており、これが私たち「和える」が協業に踏み切った一番の理由です。今回の協業により、日本にベンチャー・フィランソロピーの文化を定着させていくことの一翼を担えればとも考えております。これは後続の起業家にとって資金調達の新たな選択肢が増え、中長期的なビジョンをもったビジネスモデルの構築がより可能になり、ビジネスモデルの多様化の可能性を大きく広げることにつながると考えています。そのためにも、私たち「和える」の事業インパクトの拡大が上手くいくか否か、とても責任のあることだとも感じております。私たち「和える」が本事業提携により、文化と経済両輪での事業を育むことのスピードを適切に早めることが出来ると、私たちの目的である、1 つでも多くの日本の伝統を次世代につなげる可能性が増大します。また、それにより生み出した利益が、次代の起業家に還元されるという JVPF の事業モデルはとても明瞭だとも感じました。私たち「和える」が受けた応援を次世代に返していくことができる。これは資金使途としてとても理想的であり、私たちの取組がさらなる社会の課題解決につながる可能性を有していることも、今回の協業の魅力だと感じております。」

<出資先の概要> 株式会社「和える」

《所在地》 東京都港区西麻布三丁目 5 番 2 号

《代表者》 代表取締役 矢島里佳

《設立》 2011 年 3 月 16 日

《URL》 <https://a-eru.co.jp/>

《事業内容》 日本の伝統産業の技術を用いた商品の企画、開発、販売他

株式会社「和える」代表取締役 矢島 里佳（やじま りか）

1988 年生まれ。職人と伝統の魅力に惹かれ、19 歳の頃から全国を回り始め、大学時代に日本の伝統文化・産業の情報発信の仕事をする。「日本の伝統を次世代につなぎたい」という思いから、大学 4 年時である 2011 年 3 月、株式会社「和える」を創業、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。2013 年慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修士課程修了、世界経済フォーラム（ダボス会議）「World Economic Forum - Global Shapers Community」メンバー。2015 年第 4 回 日本政策投資銀行（DBJ）「女性新ビジネスプランコンペティション」にて、女性起業大賞受賞。2017 年 第 2 回 APEC「APEC BEST AWARD」にて、APEC best award 大賞、Best social impact 賞をダブル受賞。

一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズについて

社会的事業を行う様々な団体に対し、社会的に貢献し、かつ事業の持続性を保持できるよう助言・援助を行う ことを目的として 2012 年 11 月に設立。事業投資育成の専門家、社会的事業支援の経験者が共同で創業。設立趣旨に賛同するプロボノ・パートナー企業とも提携し、支援先に対して 3-5 年の中長期の視点から、専門的な経営資源を継続的に提供する。

《所在地》東京都品川区上大崎 2-15-19 MG 目黒駅前 4 階

《代表者》共同代表理事 白石智哉、野宮博 (info@sipartners.org)

《URL》 www.sipartners.org

《プロボノ・パートナー》

- クリフォード・チャンス法律事務所外国法共同事業：法務アドバイス
- ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン：戦略コンサルティング
- ボックスグローバル・ジャパン株式会社：PR コンサルティング

日本ベンチャー・フィランソロピー基金について

社会的事業を行う団体を支援し、持続的に発展させることを目的に 2013 年 4 月に設立された国内初の本格的なベンチャー・フィランソロピー (VP) 基金。本基金は一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズと公益財団法人日本財団 (所在地：東京都港区、会長：笹川 陽平) が共同運営している。

《URL》 www.jvpf.jp/

公益財団法人日本財団について

ポートレースの収益金を財源として国内外の公益活動を支援することを目的に 1962 年に設立された公益財団法人。社会福祉・教育・文化などの活動、海や船にかかわる活動、海外における人道活動・人材育成の 3 つの分野を中心に助成を行う他、日本の NPO セクターの育成、寄付文化の醸成、企業の CSR 活動の推進 などにも取り組んでいる。

《URL》 www.nippon-foundation.or.jp/

本プレス・リリースに関するお問い合わせ先

ボックスグローバル・ジャパン株式会社 担当：井土（イツチ）

(03-6204-4358、yusuke.izuchi@voxglobalasia.com)